

人手不足や従業員の高齢化を背景に、生産性の向上を目指すべくDXを推進。急進的な変革ではなく、従業員の成功体験を重ねることを重視し、まずはアナログ業務のデジタル化から着手する計画を策定。

浜田ビルメンテナンス株式会社				https://www.hamada-build.co.jp/	
本社所在地	浜田市港町299番地17	資本金	1,000万円	事業概要	清掃業務、警備業務、設備管理業務、建築物環境衛生管理業務
代表者名	石井信幸	従業員数	118名		
設立年	1984年	業種	ビルメンテナンス業		

背景

- 労働集約型産業であるため、事業活動は労働力にて支えられているが、昨今の人手不足と、従業員の高齢化という経営上の問題を抱えている。
- 現場の業務においては、紙をベースとした業務管理が中心となっており、情報の検索に時間を要したり、転記作業が発生せざるを得なかったりと、煩雑かつ非効率になっている。
- 社員の成長を促しながら、生産性を向上させるとともに、デジタル化またはDXの推進による生産性の向上を図ることを経営課題として捉えている。

計画の骨子

デジタイゼーションの推進

- ▶ 組織変革を伴うDXを推進するにあたり、まずは紙をベースとした業務運用のデジタル化を目指すこととした。
- ▶ 労働集約型産業であることからインパクトが大きく、かつ従業員の成功体験を積むことのできる「勤怠管理」のデジタル化を目指すこととした。

全体最適に向けたデジタル化計画

- ▶ 要求事項の実現性だけでなく、給与計算システムとの連携や将来的な人事管理システムとの連携なども見据えて勤怠管理システムを選定した。
- ▶ 販売管理システムの検討にも着手し、会社全体のデジタル武装に向けて、ノーコードツールの採用を候補に具体的検討を進めるための基本計画を策定した。